

令和7年度

長崎大学大学院総合生産科学研究科

博士課程（5年一貫制）

総合生産科学専攻

グリーンシステム科学コース

学生募集要項

推 薦 入 試

令和6年5月

長崎大学大学院総合生産科学研究科

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

TEL (095) 819-2491 (直通)

FAX (095) 819-2716

長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻 アドミッションポリシー

総合生産科学研究科の教育理念・目標

総合生産科学研究科総合生産科学専攻では、地球温暖化やエネルギー・食糧・水資源の枯渇化等の地球と人間が相互に関連する諸問題に対して、工学・化学・水産学・環境科学・情報データ科学等の技術と英知を結集し、学問領域を超えて俯瞰的視野で取り組む人材を育成する。長崎大学が目標として掲げる「プラネタリーヘルス（地球の健康）の実現」に向けて、海洋科学技術、水環境技術推進、国土強靱化・減災と環境との共生、水産資源の活用等に関わる研究をIoTやデータサイエンスと共に推進し、持続可能な社会構築に貢献する。脱炭素社会の実現に向け、次世代エネルギー・資源や新機能性物質創製等の最先端科学技術を創出すると共に、グローバルな危機的環境課題を解決できる研究者・技術者・高度専門職業人を養成する。

総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）の教育理念・目標

博士課程（5年一貫制）グリーンシステム科学コースは、地球規模のクライシスに対応するため、グリーンシステム科学に関する領域に特化し、領域全体を俯瞰できる高度基礎知識に裏打ちされた先導的研究を展開でき、かつ国際的なアカデミアに貢献できる研究者の養成を教育目標としている。

総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）アドミッションポリシー

総合生産科学研究科では、入学者に以下の学力・能力、資質・素養を求めます。

- (1) 工学、水産学、環境科学又は情報データ科学のいずれかにおいて高い基礎学力がある。
- (2) 脱炭素社会の実現に向け、自然と共生する持続社会の発展に貢献する意思がある。
- (3) エネルギー・資源・新素材開発等の最先端技術を創出する意思がある。
- (4) 地球温暖化・食糧・資源枯渇化等の地球と人間が相互に関連する諸問題を解決する意思がある。
- (5) 国際的な立場で活躍し、課題発見・探求能力、研究計画・マネジメント能力を修得する強い意思がある。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎ 大きい比重：○））

求める素質等		専門分野の 基礎学力	グリーンシステ ム科学を学ぶ姿 勢と学力	国際的アカデミ アで活躍できる 研究者になろう とする強い意志	研究者に必要な 素養と適性	国際性ある研究 者に必要な英語 力を修得するた めの基礎力
入試区分						
一般入試	英語					○
	面接及び口述試験	◎	○	◎	○	
推薦入試	成績証明書	◎			○	
	面接及び口述試験	◎	○	◎	○	○
外国人留学生入試	口述試験（英語を含む）	◎	○			○
	面接			◎	○	

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
総合生産科学専攻	グリーンシステム科学コース	2人

2. 出願資格

次の①又は②のいずれかに該当する者で、学業成績が優秀で、人物に優れ、在籍又は既卒の大学（学部、学科又はコース）等の長又は指導教員が責任をもって推薦でき、合格した場合には入学することを確約できるもの。

- ① 大学を卒業した者及び令和7年3月までに大学を卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（令和7年3月の時点で授与される見込みの者も含む。）

3. 出願期間

令和6年5月27日（月）から令和6年5月31日（金）17:00まで

- (1) 郵送する場合は必ず書留速達とし、5月31日（金）17:00までに必着すること。

郵送先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係

- (2) 志願者が出願書類等を持参する場合は、9:00から17:00まで受け付ける。

4. 出願手続

志願者は、以下の出願書類等を、所定の期日までに長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ提出すること。

出願に当たって、指導を希望する教員に事前に連絡を取り、受験や入学後の研究内容について十分相談し、内諾を得ておくこと。

※ 本研究科所定の様式は、長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」

（アドレス：<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou>）

出願書類等	備考
入学願書 (本研究科所定の様式)	予め主たる指導を希望する教員と面談を行ったうえ、入学願書に指導を希望する教員名（「教員一覧」参照）を必ず記入すること。
写真票・受験票・検定料納付 証明書貼付票 (本研究科所定の様式)	
卒業（修了）見込証明書	出身学校長が作成したもの。卒業証書の写しは不可。 ※ 長崎大学の在籍学生及び卒業生は提出不要。
成績証明書	出身学校長が作成したもの。 ※ 長崎大学の在籍学生は証明書発行機を利用すること。卒業生は証明書発行サービスを利用すること。 ※ 短期大学又は高等専門学校の専攻科修了見込者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科の成績証明書を提出すること。
推薦書 (本研究科所定の様式)	出身大学（学部、学科又はコース）等の長又は指導教員が作成し、厳封したもの

<p>検定料 (30,000 円)</p>	<p>《 振込期間 》 令和 6 年 5 月 27 日 (月) から令和 6 年 5 月 31 日 (金) まで</p> <p>《 振込方法 》 E-支払いサイト (https://e-shiharai.net/) (英語版 https://e-shiharai.net/ecard/) にアクセスのうえ、①コンビニエンスストア ②ペイジー (金融機関 A T M 決済) ③ペイジー (ネットバンク決済) ・ネットバンキング ④クレジットカード のいずれかで支払うこと。(振込時に別途必要な振込手数料は振込者の負担となる。振込手数料は支払方法で違うので申込画面で確認のこと) ※ E-支払いサービス (英語版) では、④クレジットカード払いのみ選択できる。</p> <p>《 支払い別の貼付書類について 》 E-支払サービスで選択した支払方法毎に、次の書類を検定料納付証明書貼付票に貼付すること。</p> <p>①コンビニエンスストア支払の場合 支払い後、コンビニエンスストアで受領した「取扱明細書 (取扱明細書兼受領書)」の点線枠の「収納証明書」部分を切り取り貼付して提出</p> <p>②ペイジー (金融機関 A T M 決済) 支払の場合 支払後、出力される「ご利用明細票」を貼付して提出</p> <p>③ペイジー (ネットバンク決済) ・ネットバンキング、 ④クレジットカードの場合 支払後、E-支払いサイトにアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、「照会結果」を印刷し所定の様式に貼付して提出</p> <p>※ E-支払いサービスにおける手順等に関する質問は、同サービス「利用ガイド」や「よくある質問」を確認し、不明な点があればE-サービスサポートセンターへ問い合わせること。</p> <p>※ 上記いずれの方法も利用できない場合は、財務部財務企画課資金管理班 (電話：095-819-2060/email: sikin@ml.nagasaki-u.ac.jp) まで問い合わせること。</p> <p>(注意) E-支払いサービスでは、支払い後のキャンセルはできない。クレジットカードで支払った場合は、申し込み完了と同時に支払いが完了する。</p> <p>《 出願に際しての留意事項 》 検定料が振り込まれていない場合、支払いを証明する収納証明書やご利用明細票等が貼付または添えられていない場合は出願を受理しない。</p> <p>既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった (出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により、当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。</p> <p>なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から 14 日以内とする。</p> <p>[返還に関する問い合わせ先] 長崎大学財務部財務企画課資金管理班 (TEL 095-819-2060)</p> <p>※ 日本政府 (文部科学省) 国費外国人留学生は不要である。</p>
<p>受験票返送用封筒 〔長形 3 号 (12cm×23.5cm)〕</p>	<p>志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、「受験料返送」と朱書きの上、344 円分の切手 (速達) を貼付したもの。</p>
<p>住所登録 (受験票などの送付に使用)</p>	<p>「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」のフォームから、入力すること。(書類の提出は不要)</p> <p>入力受付期間：令和 6 年 5 月 27 日 (月) から 5 月 31 日 (金) 17 時まで</p>

学位授与証明書 (出願資格②の出願者で、学士の学位を授与された者のみ)	大学改革支援・学位授与機構が発行したものを提出すること。
学位授与申請受理証明書 (出願資格②の出願者で、大学改革支援・学位授与機構に学位申請中の者)	大学改革支援・学位授与機構が発行したものを提出すること。
学位授与申請予定証明書 (専攻科修了見込者のみ)	当該短期大学長又は高等専門学校長が発行したものを提出すること。
在留資格を証明するもの(写) (外国人志願者のみ)	在留カード又は旅券(入国査証(VISA)の確認ができる部分)の写しを提出すること。

注) 改姓等がある場合は証明する書類を併せて提出すること。

5. 出願に関する注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は原則認めない。
- (2) 受理した出願書類は、返還しない。
- (3) 入学試験についての問い合わせは、メールもしくは郵便により行うこと。郵便で照会する場合は、返信先を明記し、所要の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。なお、電話による問い合わせには応じない。(メールアドレス: seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp)

6. 選抜方法

推薦書等の出願書類を参考にし、成績証明書の審査結果並びに面接及び口述試験の成績を総合して行う。なお、面接を受験しなければ失格とする。

- (1) 試験日時・場所

令和6年6月25日(火) 10:00~

長崎大学工学部 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

- (2) 学力検査等の配点

成績証明書	面接及び口述試験	総得点
100	100	200

- (3) 合否判定基準

学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。ただし、面接及び口述試験の結果が著しく低い場合には、不合格とする場合がある。

なお、成績証明書及び面接は、次の方法で評価する。

【成績証明書の評価方法】

各科目の評定を点数化し、成績証明書の配点に換算する。

なお、点数化の際には、各科目の単位数等を勘案することがある。

【面接及び口述試験の評価方法】

複数の面接員による個人面接形式で、次の(a)及び(b)の方法で試験を行い、基礎学力及び専門知識等について総合的に評価する。

- (a) 出願書類を参考にして、志望動機、勉学意欲、一般知識及び社会性を総合的に評価する。
- (b) 志願者の学位論文（又はこれに代わる研究業績）及び研究計画の発表を参考にして試問を行い、総合的に評価する。

7. 受験上の注意事項

- (1) 試験前日の午後、工学部1号館ピロティに試験当日の集合場所を掲示するので、集合場所を確認すること。（ただし、入室はできない。）
- (2) 受験者は、本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (3) 試験当日、所定の試験室（集合場所）は試験開始時刻30分前（9:30）解錠する。志願者は、試験時刻15分前（9:45）までに入室すること。（試験開始（10:00）後の遅刻者は受験を認めない。）
- (4) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (5) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は、試験日を延期することがある。
- (6) 原則として追試験は実施しない。また、不測の事態が生じた場合、再試験を実施することがある。

8. 合格者発表

令和6年7月17日（水） 10:00

- ※ 午前10:00以降、長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページに合格者を掲載するとともに、合格者に対し合格通知書を発送する。
「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「合格発表」
（アドレス：<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/goukaku>）
- ※ 電話による合否の問い合わせには一切応じない。

9. 入学手続等

合格した者は、次により入学手続を行うこと。なお、詳細については、令和7年1月中旬頃に別途通知する。

(1) 手続期間

令和7年2月26日（水）～令和7年3月6日（木）〔受付時間 9:00～17:00〕（土日祝除く）

(2) 納付金の納入

・入学料 ・ ・ ・ ・ ・ 282,000 円

（注）既納の入学料は返還しない。

〔参考〕

- ① 令和6年度授業料（年額）：535,800円（前期分267,900円、後期分267,900円）
- ② 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月になる。
- ③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- ④ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。（詳細は、入学手続関係書類に同封する。）
- ⑤ 合格者のうち、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学料及び授業料は不要である。

10. 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験の全ての科目の成績を無効とします。

- ア 入学願書、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓（持ち込みが許可されている場合を除く。）、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとみなす。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要である。）
- ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓（持ち込みが許可されている場合を除く。）、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

11. 個人情報の取扱

- (1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- (2) 入学試験の成績及びその他の個人情報は、入学料免除及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。
- (3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- (4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

12. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和6年5月13日（月）までに、下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ相談すること。なお、入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。

また、事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

- (1) 入試の区分
- (2) 障がいの種類・程度
- (3) 受験上の配慮を希望する事項
- (4) 修学上の配慮を希望する事項
- (5) 出身大学等でとられていた配慮
- (6) 日常生活の状態
- (7) 志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

13. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については各コースへ問い合わせること。

博士課程（5年一貫制）グリーンシステム科学コースにおける経済的支援について

グリーンシステム科学コースでは、本コースに属する1～2年次の学生に対して、授業料相当額以上の経済的支援（各年次5名を上限）を行う制度を整備中です。

また、3～5年次では、次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）による経済的支援（年間で研究奨励金220万円＋研究費50万円）の優先枠（各年次5名を上限）を設け、学業・研究に集中できる環境を提供します。

総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）
科目担当教員一覧

担当教員	研究内容
大嶺 聖	地盤の高度利用技術と地盤環境工学に関する研究
木村 正成	高効率有機合成反応の開発と機能性物質の革新的合成
近藤 智恵子	環境負荷の小さい高性能ヒートポンプおよび冷却デバイスの開発
才本 明秀	固体における破壊現象の予測と工学的応用
作田 絵里	光機能性化合物の創出と応用
中谷 久之	高分子の劣化・生分解化
中野 正基	電子機器用磁性材料の開発
兵頭 健生	機能性セラミックス材料の設計と応用
森口 勇	ナノ構造制御による蓄電デバイス材料の開発
森村 隆夫	熱電エネルギー変換材料の開発と構造解析
矢澤 孝哲	高機能材料の加工・計測
有川 康弘	遷移金属錯体による小分子の活性化
瓜田 幸幾	ナノ空間の特異現象解明
海野 英昭	タンパク質の構造機能解析
大貝 猛	電析法を利用した機能性金属材料の創製
鎌田 海	低次元セラミックスの生化学的応用
澤井 仁美	金属栄養素の生体内動態を制御する膜タンパク質の構造機能解析
白川 誠司	デザイン型有機分子触媒を用いた環境調和型有機合成反応の開発
浜崎 真一	電力系統連系のための電力変換器システムの制御と応用
Bun Chan	Application and development of computational quantum chemistry

※研究指導については、上表の教員に限らず、研究指導資格を有する他の教員も担当する。

令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻
入学願書〔推薦入試〕

		受験番号	※
<p>長崎大学長 殿</p> <p>貴大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻に入学したいので、 所定の書類及び検定料を添え出願します。</p> <p>年 月 日</p> <p>ふりがな 氏 名 _____</p> <p>年 月 日生 男 ・ 女</p>			
志望コース等	グリーンシステム科学コース		
指導を希望する教員		出願資格 (該当番号を○で 囲むこと)	1. 出願資格①に該当 2. 出願資格②に該当
現住所	〒 _____ TEL () _____		
出身大学・学部	年 月	大学 高専	学部 卒業・卒業見込 専攻科

記入上の注意

- ※欄は記入しないこと。
- 氏名は、戸籍又は在留カードのとおり記入すること。

令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）
総合生産科学専攻入学試験

写 真 票 （推薦入試）

受験番号	※
氏 名	
志望コース	グリーンシステム科学コース

写 真 (縦4cm×横3cm)
上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること

----- 切りはなさないこと -----

令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）
総合生産科学専攻入学試験

受 験 票 （推薦入試）

受験番号	※
氏 名	
志望コース	グリーンシステム科学コース

写 真 (縦4cm×横3cm)
上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること

----- 切りはなさないこと -----

令和7年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）
総合生産科学専攻入学試験 検定料納付証明書貼付票（推薦入試）

住 所	
氏 名	
志望コース	グリーンシステム科学コース
検定料納付証明書貼付欄	

----- 切りはなさないこと -----

受験上の注意事項

- (1) 試験前日の午後，工学部1号館ピロティに試験当日の集合場所を掲示するので，集合場所を確認すること。（ただし，入室はできない。）
- (2) 受験者は，本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (3) 試験当日，所定の試験室（集合場所）は試験開始時刻30分前（9:30）に開錠する。志願者は，試験時刻15分前（9:45）までに入室すること。（試験開始（10:00）後の遅刻者は受験を認めない。）
- (4) 携帯電話等は，試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (5) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は，試験日を延期することがある。
- (6) 原則として追試験は実施しない。また，不測の事態が生じた場合，再試験を実施することがある。

----- 切りはなさないこと -----

推薦入試用

受験番号

※

推薦書

年 月 日

長崎大学長 殿

(所属・職名)

推薦者

氏 名

㊟

下記の者は、長崎大学大学院総合生産科学研究科博士課程（5年一貫制）入学にふさわしく、合格した場合には入学することを確約しているため、責任をもって推薦します。

志願者氏名

推薦理由

卒業研究を実施している場合は、志願者の卒業研究のテーマを記入してください。

(推薦者への留意事項)

この推薦書は、志願者の所属する大学（学部、学科又はコース）等の長又は指導教員が記入のうえ、厳封してください。なお、所属する学部、学科等で推薦する条件を定めている場合、それを志願者が満たしているか確認してください。